

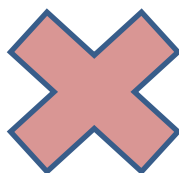
農作業の請負を希望される障がい者就労施設のみなさまへ



の う ふ く
農 福
れ ん け い
連 携

地域共生社会の実現につながる！！

農 業



福 祉

人材不足の解消や労働環境の改善につながる可能性が！

働く場や収入確保によって社会参加や交流を！

熊本県障がい者支援課

農福連携、県の取組

県では農業と福祉が連携し、障がい者が農業現場で活躍する機会を増やし、障がい者就労施設における工賃または賃金水準の向上や、障がい者の就労の場や機会の確保、自立した日常生活や社会生活の実現を図る取組の一環として、農福連携への取組を支援しています。

障がい者支援課では、障がい者就労施設が、農業者から農作業や加工等を請け負うためのマッチング支援を行っています。

こんなメリットがあります！！

自然とのふれあいで、情緒の安定などの福祉的ケアが期待できます。

一般就労に向けた体力、精神面の訓練に有効です。

就労先が増え、収入の増加が見込めます。

マッチングの一例



事業所	2事業所(A型、B型)
作業内容	たまねぎ苗の結束作業 (選果場内作業)
委託料単価	一束あたりの単価

作業内容	たまねぎの定植作業
委託料単価	作業した畝の1mあたりの単価

結束作業を機に、定植作業、除草作業と続けて契約することができ、賃金・工賃の増加につながっています。



事業所	9事業所(A型、B型)
作業内容	菊芋収穫、洗浄、トリミング (持帰含)
委託料単価	収穫・洗浄:時給換算 トリミング:出来高換算



初めての作業で、最初は戸惑いもありましたが、時間の経過とともに慣れて、順調に取組が続き、利用者さんの体力面、精神面の訓練にもなっています。

Q&A

Q1 どんな作業がありますか

定植、除草、収穫、袋づめなど様々な作業依頼があります。

現地での事前説明会を実施し、できる作業を確認してもらいます。

Q2 作業の時間や、委託料はどのように決まりますか

委託料等は、双方の話し合いによって決められます。

- 農作物の生育状況の都合等で、時間の制約がある場合もあります。
- コーディネーターは最低賃金以上の確保や、支援員と一緒に作業をする場合に、支援員分も委託料に含めるよう交渉を行うなど、調整を図ります。

必要ありません。

一連の作業を、単純作業に切り分けて、できる作業部分のみ請け負ったり、契約前にお試し期間を設けていますので、経験が無くても大丈夫です。

Q3 農業の経験は必要ですか

Q4 どのような契約になるのでしょうか

農業者と請負契約を結びます。

福祉施設と農業者で契約書を作成いただきます。単価や事故の保障等、必要な取り決めがあるか、契約内容について県でも確認をしています。

Q5 契約後もコーディネーターの支援はありますか

毎月、実施状況を確認し、助言等を行っています。

契約内容が実際と異なっているなど、福祉施設、農業者間で問題が起きた時には、コーディネーターが調整に入ったり、請負作業が終わるまで、継続した支援を行っています。

◆ 農福連携のマッチング支援（コーディネート）とは

県では、就労継続支援事業所と農業者との仲介を行うコーディネーターを1人配置し、両者のマッチングの他、双方の情報収集、新たな就労先（農業者）や、作業請負先（事業所）の開拓等が円滑に進むよう様々な調整を行っています。

福祉施設の声

- コーディネーターの単価交渉で、予定より高い額で契約でき、工賃向上につながった。
- 障がい者の就労への大きな自信になった。
- 農業者から温かい声掛けがあり、地域に根差した支援はこういったことだと感じた。
- 作業が難しいと思われた利用者でも参加できる作業がある。

農業者の声

- コーディネーターに、作業内容にあった福祉施設を紹介してもらった。
- 施設の指導員さんが、障がい者の方に指導されるので安心して取り組めた。
- 袋詰めを頼んだことで収穫後の作業がなくなり、心にゆとりが生まれた。
- 今では農園にとって、なくてはならない存在になっている。



コーディネーターから

- ★農福連携コーディネーターが間に入ることで、福祉施設側、農業者側の双方が、安心して取り組んでいただけています。
- ★農業者の紹介から契約の締結、その後のフォローまで丁寧に支援させていただきます。ぜひ一緒に農福連携に取り組んでみませんか。
- ★マッチング支援のご相談は、下記問い合わせ先までお願いします。

【お問い合わせ先】

熊本県 障がい者支援課 社会参加班 農福連携コーディネーター

〒862-8570

熊本市中央区水前寺6丁目18-1

TEL 096-333-2235 fax 096-383-1739